

〔1〕放送問題

- (1) 1 Hitomi has played the piano for a long time. より答えはア
2 映像を参照
3 質問は、一番新しい家を聞いている
Peter's house is older than Ken's. Judy's house is newer than Ken's. Mike's house is the oldest the four. より
一番新しい家は Judy's house でウ
4 質問 What does Kazuya say to Masato? 「カズオはマサトに何と言っているか」
Masato is playing the guitar. Kazuya has a math test tomorrow and he wants to study for it. より、
カズヤは明日の数学のテストの勉強をしたいので、マサトにギターを弾くのをやめてほしい、から答えはイ
- (2) 1 エミリーに、ペンを貸してほしいと頼み、赤いペンを借りた後、お礼を言うことが考えられるため ア
2 質問文が、「ジムにとって、修学旅行で一番興味深いことは何でしたか？」
最後に、I enjoyed eating, too. But the most interesting thing was seeing temples and shrines. とあるので、答えはエ
3 質問が、「ジャックは今朝何時に起きましたか」に対し、
I usually get up at 6:30, but I got up thirty minutes earlier this morning. いつもは 6:30 に起きているが、今朝は 30 分早く
起きたので、答えは イ
4 質問は「リサの計画はどれですか？」 I'm going to see Mr. White at eight thirty. から、答えをアとエの 2 つに絞り、最後の
文 But I'm going to do my homework from eleven. より、答えはエ
- (3) 映像を参照

〔2〕英作文

- (1) アは「学び方」 イは「どこで学んだらよいか」 ウは「いつ学んだらよいか」 エは「なぜ学んだらよいか」なのでア。
- (2) 「調べ物をするときに、本を読むか、インターネットを使うか、どちらが好きか」について書く。理由が具体的にわかるよう
に、5行以内で書けていればよい。[映像も参照](#)

(3) 対話文読解

- (1) 空所直後の1文に着目する。「私たちはそこで高齢者たちを手伝いました」とあり、老人ホームで何をしたのかを答えている。よって、Whatを入れるのが適切。
- (2) B 文末の then は過去の時点を指しているので過去形 did にする。
- E 直前に、enjoyed があるので、動名詞 walking にする。
- (3) C < tell + 人 + to + 動詞の原形> で、「～するように言う」。
- G 関係代名詞が省略された文である。the dogs を we met in the morning が修飾している。
- (4) 下線部分直後の1文が解答部分である。「犬たちのおかげで、高齢者たちはより気分がよくなつた」とある。
- (5) 空所を含む英文は、「この経験を通して、私は～に気づいた」という意味。エリコの5つ目の発言に、高齢者たちは犬と一緒に過ごすことによって、体を動かす機会を得ることができたという内容があるので、イが最も適当。**映像も参照**
- (6) 下線部分直後の1文が解答部分である。文の後半は間接疑問文が含まれており、<how + 主語 + 動詞> で、「主語がどのように～するか」という意味になる。
- (7) ア 「大人のボランティア団体はたくさんの種類の動物を所有していた」。エリコの2つ目の発言から、二匹の犬を連れていたことしか読み取れない。
- イ 「高齢の男性は犬に触れたとき、それらを怖がっていた」。エリコの4つ目の発言から、高齢の男性は犬に触れたとき、気分がよかつたと言っていたことがわかる。
- ウ 「高齢者たちは犬と一緒に遊ぶとき、彼らの体を使った」。エリコの5つ目の発言に、「高齢者たちは彼らの手や体を何度も使った」とあるので、適当。
- エ 「ジョーンズ先生は、高齢者たちは他の人と一緒に話すのが好きではないと言った」。ジョーンズ先生の9つ目の発言に、「彼ら (= 高齢者たち) は他の人々といつも話したがっている」とある。
- オ 「動物たちは私たちの言語を理解することができるので、私たちの友人になれる」。エリコの最後の発言に、「動物たちは私たちの言語を理解することができない」とある。

対話文

- エリコは中学生です。彼女は英語教師のジョーンズ先生と話しています。
- ジョーンズ先生：やあ、エリコ。あなたは先週末に高齢者たちの世話をするために老人ホームを訪れたと聞きました。どうでしたか。
- エリコ：私はとても楽しみました。友人と私は、大人のボランティア団体に出会いました。私たちはその団体と一緒にいくつかの活動を楽しみました。
- ジョーンズ先生：あなたたちは何をしましたか。
- エリコ：私たちはその高齢者たちを手伝いました。その大人の団体は二匹の犬を連れていたので、私たちはとても驚きました。
- ジョーンズ先生：犬ですか。それについてもっと私に話してください。私はそこにいませんでした。
- エリコ：そのとき、その動物たちは私たちのボランティア活動のなかでとてもよい仕事をしました。その団体は、犬を高齢者たちのところへ連れて行くように私たちに言いました。彼らは犬に触れたり、それらと話したりしました。私はあることに気づきました。その犬のおかげで、高齢者たちは気分がよくなりました。
- ジョーンズ先生：なぜそう思うのですか。
- エリコ：なぜなら、ある高齢の男性が「私は犬に触れているときはとても気分がいいんだ」と言ったからです。
- ジョーンズ先生：彼のことは理解できます。高齢者たちはその後、何をしましたか。
- エリコ：高齢者たちは犬と一緒に歩きました。そして、彼らは犬と一緒にゲームをしました。高齢者たちは手と体を何度も使いました。彼らはとても嬉しそうに見えました。もう一人の高齢の男性は「私には歩き回る機会があまりないですが、今日は犬と一緒に歩くことを楽しみました」と言いました。
- ジョーンズ先生：その犬はとても役に立ちますね。
- エリコ：それを聞けて嬉しいです。この経験を通して、私は犬が高齢者たちの体にとってよいことに気づきました。ゲームの後、私たちは高齢者たちと一緒に昼食をとりました。私たちは、午前に私たちが会った犬について話しました。高齢者の数人は他の動物のことについて話し始めました。私は彼らが本当によい時間を過ごしたのだと思います。
- ジョーンズ先生：それはいいですね。
- エリコ：私たちが老人ホームに来たとき、高齢者たちに笑顔はありませんでした。しかし、私たちがそこを去るとき、彼らには嬉しそうな笑顔がありました。ある高齢の女性は「私は犬と友達になりました。また彼らに会いたいです」と言いました。もう一人の高齢の女性は「あなたののような若い人たちと話ができるよい時間を過ごせました」と言いました。
- ジョーンズ先生：それはとてもいいですね。あなたが訪問から学んだ大切なことは何ですか。
- エリコ：ええと、私は高齢者たちは他の人々と意思疎通をとりたいのだと思います。
- ジョーンズ先生：その通りです。彼らはいつも他の人々と話をしたいです。時には、彼らは動物と話すことができます。
- エリコ：私たちはもう一つの大切なことを学びました。動物たちは私たちの言葉を理解することはできませんが、彼らは私たちがどのように感じているかを理解することができます。だから彼らは私たちの友人になること [2] ができますし、私たちに生きる希望を与えてくれます。
- ジョーンズ先生：あなたは多くのことを学びました。明日の授業であなたが学んだことについて、あなたに話してもらいたいです。

[4] 長文読解

- (1) 「彼らはそれについてしばらく考えていました」。
They と it がそれぞれ何を指すのかを考える。b に入れるのが適当である。They は Kazuya and Maki を、it は“What should I do?”を指している。
- (2) 直後の名詞に注目する。elderly man, Mr. Koyama である。直前のイマイさんとは別の年配の男性が一人登場しているので、Another 「もう一人の」が適当。
- 映像も参照**
- (3) 第3段落の5文目 Well, they tried ~が解答部分なので、これをまとめる。
- (4) 第5段落の最後から3文目 Kazuya made our ~に注目する。カズヤは年配の人々のためにダンスを簡単にしたとあるので、「年配の人々が参加できる何かをしたい」となるように、ウを入れるのが適当。
- (5) ①第1段落の最後から5文目に着目。We make and repair furniture every two weeks とある。
- ②第4段落の最後から4文目に着目。Maki and Kazuya were happy to know more about the elderly people とある。
- ③第5段落の最後から3文目に着目。Kazuya made our dancing easier for the elderly people とあり、ダンスを簡単なものに変えたのはカズヤだとわかる。
- 映像も参照**
- (6) ア 「マキとカズヤは毎週家具を修理するために公民館に行く」。第1段落の2~4文目に着目。マキとカズヤは公民館で行われるダンスの授業に通っているので、不適当。
- イ 「マキは年配の人々にとって手拍子をとることは難しいと言った」。第3段落の5文目に着目。この内容を話したのは、マキではなくタナカさんなので、不適当。
- ウ 「マキとカズヤはイマイさんの孫とダンスをしたがっていた」。第4段落に着目。イマイさんの孫について書かれているが、選択肢の内容については言及されていないので、不適当。
- エ 「カズヤは年配の人々に手を挙げてそれらを振るように頼んだ」。第5段落の2文目に着目する。カズヤは年配の人々に対して「手を挙げてそれらを振りましょう」と言っているので、適当。オ 「タナカさんには孫がいて、彼らと一緒に歌ったり踊ったりして楽しんでいる」。第4段落に着目する。「私には孫がいます」と言っているのはイマイさんなので、不適当。
- (7) 別解 I like basketball. It's fun for me to watch the game on TV or the Internet at home. The other day, I could watch the professional basketball game in the gym. It was my first time to watch it, so I was excited.

長文読解

マキは15歳です。彼女はダンスが好きで毎週土曜日には公民館のダンスの授業に行きます。彼女はそこに数人の友人がいます。カズヤはそのうちの一人です。ある土曜日、公民館の庭で、マキとカズヤはダンスの授業の後でベンチに座っていました。一人の男性が年配の人々と一緒に公民館から出てきました。彼らはマキとカズヤの隣に座りました。その男性は「やあ、カズヤ」と言いました。彼はカズヤの家の近くに住んでいる男性でした。カズヤは「こんにちは、タナカさん。あなたはここで働いているんですか」と言いました。彼は「いいえ、私は年配の人々が家具を作るのを手伝うために、ときどきここに来ているんだ」と答えました。年配の人々のうちの一人であるイマイさんは「私たちちは2週間ごとに家具を作ったり修理したりしています。私たちちはこの人々と一緒によい時間を過ごしています」と言いました。もう一人の年配の男性であるコヤマさんは「私はときどきあなたたちをここで見ますよ」と言いました。カズヤは「はい、私たちちは毎週土曜にここに来ています」と言いました。彼らは会話を楽しみました。

1週間後、マキとカズヤはダンスの練習の後で年配の人々について話しました。彼は「私は彼らのために何かをしたい。私たちは何ができるでしょうか」と言いました。彼女は「私に考えがあります。彼らに私たちのダンスを見せましょう」と言いました。彼は賛成しました。

翌週、マキとカズヤは公民館に行って彼らのダンスを年配の人々とタナカさんに見せました。彼らは笑顔になり、喜んでくれたように見えました。マキとカズヤが出発するとき、マキはタナカさんに「年配の人々は私たちのダンスを楽しんでくれたと思いますか」と言いました。彼は「あなたたちが私たちにダンスを見せててくれて、嬉しいです。ええと、彼らは手拍子をとろうとしましたが、それは彼らにとっては難しかったのです。あなたはそれを見ましたか」と答えました。マキは「まあ、私はそのことに気づきませんでした」と答えました。カズヤは「私は何をするべきでしょうか」と言いました。彼らはそのことについてしばらく考えていました。マキは「私たちは年配の人々についてもっとよく知るべきです」と言いました。カズヤは「そうですね」と言いました。

マキとカズヤはその後何度も公民館を訪れました。年配の人々は彼らを歓迎しました。彼らは孫や好きな歌など、たくさんのことについて話しました。イマイさんは「私には孫がいます。私は彼女と一緒に歌うことが好きです」と言いました。そこでマキは彼女に好きな歌を尋ねました。彼らは年配の人々と話して本当によい時間を過ごしました。マキとカズヤは年配の人々のことについてもっと知れて嬉しくなり、彼らは何をすべきかについてたくさん話しました。マキは「年配の人々が参加できる何かをしたいです」と言いました。カズヤは「それはいい考えです。何をしましょうか」と言いました。

(2週間後)

年配の人々は公民館の椅子に座っていました。カズヤは彼らに「手を挙げてそれらを振りましょう」と言いました。タナカさんはマキに「あなたたちの考えは素晴らしい」と言いました。マキは「ありがとうございます。私たちちは年配の人々に彼らの好きな歌を尋ねました。私たちちは彼らの好きな歌に合わせて踊ろうとしました。カズヤは年配の人々のために私たちのダンスをより簡単にしました」と言いました。年配の人々は手拍子をとり始めました。彼らはみんなとても嬉しそうに見えました。

彼らのダンスの後で、タナカさんは「私はたくさんの嬉しそうな顔を見て驚きました。すばらしいダンスを見せてくれてありがとうございます。あなたたちが彼らのためにダンスを変えてくれたので、彼らはあなたたちのダンスに参加することができました」と言いました。マキとカズヤはそれを聞いてとても喜びました。カズヤは「私たちは彼らと一緒にダンスをして素晴らしい時間を過ごしました。年配の人々は私たちにたくさんのこと話をしてくれました。私たちは彼らのことについてより知ることができました。ダンスをすることは楽しいですが、年配の人々と一緒にダンスをすることはより一層楽しいです」と言いました。